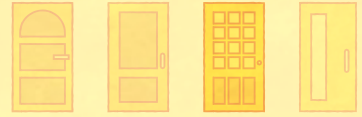


人間行動学科 心理学コース



心理学コースとは

多様で複雑な私たち人間の営みを、心の働きという視点から解き明かすことを目指しているのが心理学です。心理学の問いは多岐にわたります。たとえば、同じ状況におかれても、人によって感じ方や考え方が、振る舞い方は違ってくる。こうした個人差はなぜ生じるのでしょうか。集団の中にいるときの私たちの振る舞いは、一人のときとは違っています。それはなぜでしょうか。また、人間の記憶や推論は、どのくらい正確なのでしょう。さらに、人間と動物の心のあり方はどこが同じで、どこが違っているのでしょうか。心理学コースは、このような問いに答えるために実験や調査を行いながら、心とは何かを考えるところです。心について探求してみたいと考えている人ならどなたでも歓迎します。

橋本先生の研究

私たちの心は、私たち自身が作り出す社会環境に適応するための「道具」であるとする適応論の考えにもとづき、社会のあり方と心のあり方の関係を解き明かすための研究に力を入れています。現在は、主に二つの研究テーマを扱っています。一つは、心の文化差についてです。文化によって心の働きが異なるという常識的な理解を超えて、「どのように」、そして「なぜ」心の文化差が示されるかを調査や実験を通じて深く考えています。もう一つは、人間の協索性・利他性を生み出し維持する心のしくみについてです。私たち人間は、自分のことだけを考えて行動する存在ではなく、他者をも考慮に入れて行動する存在です。そうした「どうしようもなく社会的」な人間の心について、実験を通じて考察しています。



准教授
はしもと ひろふみ
橋本 博文 先生

心理学コースを 選んだ理由

ある時、気づいたんです。世界に存在する問題って、人間の心や行動から生じたものだから、その人間の心や行動を理解することで、世界のあらゆる問題を解決できるんじゃないかって。だから、心理学を学ぶことにしました。

心理学コースの 魅力

このコースでは、ただ心理学を勉強するのではなく、実験から「学ぶ」ことができるのが魅力的です。自分たちが行った実験で得られた結果は驚きがいっぱいで、「なぜその結果になったのか」を考察する時間がとても楽しいです。



3回生
あべ まいな
阿部 真衣奈さん

面白いと思った 専門科目

「科目名」
心理学実験演習
I・II(心理学実験)

面白かった実験内容を列記します。「人はどんな時に他人の意見や情報に左右されるのか」「左手で同じ絵を何度も描いて練習したら右手でも上手く描けるようになるか」「重さの物理的な値の変化に対して感覚の大きさはどのように変化するか」「ラットを用いてグルタミン酸神経系・海馬と記憶の関係を示せるか」

卒論テーマ例

- ・エネルギー減少場面における遅延割引測定
—遅延時間・報酬量・エネルギー価格の効果
- ・新生仔期母子分離ストレス負荷ラットの行動特性に及ぼすクエチアピン慢性投与の効果
- ・モラルジレンマ課題における課題文が判断に与える影響

心理学コースにとっての 『とびうら』とは?

私たちは皆、自分が心を持つ存在であることを知っています。また、他の人たちも同じように心を持つ存在であることもわかっているはず。高校生や大学生の皆さんも、自分や自分のまわりの人たちの心の働きについて、きっと多くのことを観察しているでしょう。そうした経験を踏まえて、人間の心の働きを「わかったつもり」になっているかもしません。ただ、その段階では、学問としての心理学の扉をたいているにすぎません。心理学という学問の扉の先には、心の働きの規則性に関する多くの証拠や、それらを束ねる理論がいくつもあつて、個人的な観察や経験のみにもとづく知識は、どうしても誤りを含んでしまいます。だからこそ、心の働きという捉えにくいものを科学的に明らかにしようとしているのが心理学という学問なのです。心について探求してみたいと考えている人にとって、心理学は学びがいがある学問です。扉の先へ一歩踏み出してみませんか? (文・橋本先生)

